

新潟地区第1回懇談会  
(2024年度目黒会首都圏総支部秋の交流会・北部地区部会総会)開催報告

2024.11.3

文責：幹事 佐藤 亨  
(1973年電子計算機学科入学)

首都圏総支部では、11月2日(土)午後、標記交流会および総会を開催し、その後の懇親会で交流を深めました。

今回の秋の交流会は、新潟県で初のイベントとして長岡市で開催されました。新潟県内の会員はもとより、県ゆかりの会員に加え、首都圏総支部からも役員幹部を招き盛大に開催されました。参加者の内訳としては、県内及び県ゆかりの会員12名(内リモート5名)、首都圏総支部9名(内リモート1名)、長野支部1名で総人数22名でした。

当日はアオーレ長岡・第三協働ルームにおいて、新潟地区第1回懇談会開催趣旨説明に続き、北部地区部会総会、記念講演、新潟県内会員の紹介を実施しました。その後、長岡グランドホテルにて懇親会を開催し、さらに居酒屋に移動しての二次会も11名が参加し、大いに親睦を深めました。

本懇談会の開催趣旨説明では竹田智彦首都圏総支部長からの挨拶の後、今井高介総支部顧問から新潟地区での開催に至る経緯が説明され、発起人2名として佐藤亨幹事および堀田芳洋幹事が紹介されました。続いて目黒会、首都圏総支部および首都圏北部地区部会の位置づけとそれぞれの活動内容が紹介されました。

北部地区部会総会では、議長：山崎成北部地区部会長、書記：宮澤信一郎副部会長のもと、令和5年度活動報告・会計報告、新潟地区活動始動等に伴う北部地区分会会則の改定、令和6年度活動計画・予算、役員・役割分担が滞りなく承認されました。

記念講演では、金子寛三条市立大学教授(長岡技術科学大学名誉教授)により「すべる話」と題し、現代の我々の生活に存在する、大・小、重・軽、いろいろな機械の軸受、歯車など様々な摩擦部分について、人工関節等を例に講演されました。

引き続き、長岡グランドホテルに移動し、竹田智彦首都圏総支部長の司会、山崎成副総支部長の発声により、長岡市「乾杯条例」に基づき日本酒にて乾杯し、懇親会が始まりました。各人の紹介では、九谷陶芸家、ブルボン食品会社就職等、ともすると電通大とは接点を感じられない異色の現地会員の興味深い話に宴会終了予定時間を30分もオーバーしたほど盛り上がりました。

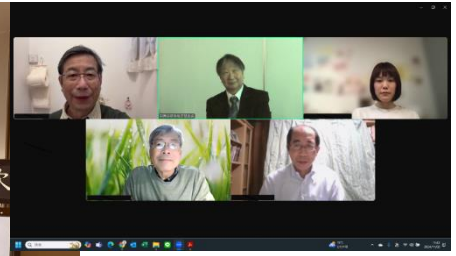
さらに二次会として、居酒屋寧々家に席を移し、大いに歓談し親睦を深め、興奮冷めやらぬひと時となりました。

また、今回希望者へのオプションツアーも用意され、11月2日のパートIでは、長岡市内にある山本五十六記念館と生家、河井継之助記念館を見学、同3日のパートIIでは寺泊の魚の市場通り(魚のアメ横)を見学致しました。

今回の秋の交流会により、目黒会空白地帯の新潟に第一歩を踏み入れたことは、大変意義深いことだと思います。新潟地区での活動を維持・拡大することを期待するとともに、さらなる北部地区部会の他の空白地帯の解消を願って止みません。以上



現地参加者全体写真



オンライン参加の皆様



会議風景



発起人の佐藤さん、堀田さん



金子先生ご講演



懇親会



オプションツアー【パートⅠ】11/2 長岡市内



オプションツアー【パートⅡ】11/3 寺泊



懇親会二次会①



懇親会二次会②